



雪氷化学分科会報告

雪氷研究大会 (2012・福山) において、講演会と分科会総会を行った。参加者は 33 名だった。

日時：平成 24 年 9 月 26 日

17 時 20 分～18 時 30 分

会場：福山市立大学 小講義室 D

1. 講演

気象研究所の青木輝夫氏より、「雪氷中の光吸収性エアロゾルと関連プロジェクト紹介」と題して講演をいただいた。積雪中の光吸収性エアロゾルについて、初歩的な知識から最新の観測レビュー、気候モデルでの取り扱いについて紹介された。また、研究に関連して今年度より本格的な観測が開始された科学研究費補助金による研究計画「北極域における積雪汚染および雪氷微生物が急激な温暖化に及ぼす影響評価 (SIGMA)」と「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス事業北極気候変動分野」の紹介もなされた。

2. 総会

以下のとおり総会を執り行った。

1. 2011 年度事業報告

- ・分科会講演会
- ・雪合宿 (乗鞍・上高地)
- ・「雪氷」雪氷化学特集号
- ・ウェブ、メーリングリスト運用

2. 監査報告

3. 2012 年度事業計画

- ・分科会講演会
- ・雪合宿

2012 年度の雪合宿の開催地として、口頭発表のセッションで話題になった「掴み雪」が観測された月山、海塩粒子が多く含まれる佐渡島、以前の開催で好評だったトマムが候補地として挙げられた。開催地と開催時期の決定は役員に一任され、その後メーリングリスト等を利用して告知することを確認した。

(雪氷化学分科会幹事長 的場澄人)

(2012 年 10 月 10 日受付)